

「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入年月 2018年12月

都道府県名	兵庫県		河川名	住吉川			
事例タイトル	"水辺の小わが魚道"による都市河川の再生						
写真							
水系名/河川名	住吉川水系/住吉川		場所	兵庫県神戸市東灘区			
位置情報 (緯度経度)	34.7118655, 135.2699864		活動開始年	2009年			
活動概要 (経緯・目的等)	平成21年(2009)から河川調査を開始し、平成23年(2011)2月に第1号魚道が完成。その後、平成28年(2016)3月に最後の第12号魚道が完成しました。また、その間に計8回のアユ等の生息調査を実施し、魚道の整備効果の確認等を検証してきた。						
再生の手法	簡易魚道	<input type="radio"/>	簡易水制 (巨石・ブロック)	バープ工 (上向き水制)	石倉かご・竹蛇籠	植生ロール・ポット	
	魚道改良		たまり・わんど造成	河床攪乱	その他 (記述)		
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	<input type="radio"/>	河川管理者 (国)	河川管理者 (都道府県)	<input type="radio"/>	河川管理者 (市町村)	河川管理者以外の地元自治体
	大学・研究機関	<input type="radio"/>	学校 (小中高)	企業		その他 (記述)	
工夫した点	民間団体、学識者、公共団体 (河川管理者) がそれぞれ協力し、川の魚道整備を進めることで、アユが生息しやすい川づくりを進めていった。						
今後の課題	住吉川は、市民の関心が高く、維持管理に非常に気をつかわなければならない河川である。このため、堆積土砂の浚渫や河川内の樹木撤去等の維持管理を必要最小限に留めており、自然のままに任せていることから、河川のみおすじと魚道がズれている箇所がある。魚道が機能するように維持管理に努めていく必要がある。						
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	アユの生息数の増加および生息範囲が広がったことが確認できた。						
関連URL等							